

取組内容に関する実施状況と今後の取組について

九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会
福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

令和元年6月5日

九頭竜川北川大規模氾濫減災協議会
福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

共通の取組内容に関する実施状況について

防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

【国協議会・県協議会共通】

小中学校や地域住民への防災に関する出前講座やパネル展の実施

水害等から身を守るための重要性を訴えて、防災に関する意識向上を図るため、小中学校や地域住民を対象に出前講座を実施しました。



H30.8.30
参加人数: 13名

小浜市防災出前講座 (小浜市国富小学校)



H30.11.25
参加人数: 164名

永平寺町防災講演会 (永平寺町ふれあいセンター)



H30.10.23
参加人数: 18名

福井県防災出前講座 (若狭町鳥羽小学校)

水防体制の強化

【国協議会・県協議会共通】

自主防災組織の活用・強化

自主防災組織の取組の強化を図るため、自主防災組織内のリーダーに対して、防災知識向上や的確な避難行動に関する研修会を実施しました。



H31.3.16
参加人数: 200名

自主防災組織リーダー研修会 (大野市)



H31.3.3
参加人数: 91名

自主防災組織リーダー研修会 (敦賀市)

自主防災組織のチカラ 第55回

高浜町内26組織の役員等が集う「第4回自主防災会意見交換会」開催!!

11月16日(金)高浜公民館2階多目的ホールにおいて、町内26の自主防災組織の役員等41名が集い、第4回自主防災会意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、自主防災組織の円滑な運営を行うために必要な情報交換や地域防災活動の強化と充実を図ることを目的に毎年開催しているものです。

今年で4回目となった意見交換会も自主防災組織の増加に伴い、参加者数も年々増加し、今年も多くの方々に参加をいただきました。

意見交換会での討議内容も、全国に約16万組織ある自主防災組織が抱える代表的な課題を取り上げ、各自主防災組織における現状と対策の紹介が行われ、各組織が共通の認識を持つことができ、今後の参考としていただきました。

◎問い合わせ/防災安全課 ☎(72)7701

H30.11.16
参加人数: 41名

自主防災組織リーダー意見交換会 (高浜町)

広報たかはま 2019年2月号

九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会の 取組内容に関する実施状況と今後の取組について

第2回の協議会において作成した「取組方針」に位置づけている、具体的な取り組みについて昨年度の実施内容を報告します。

【ソフト対策】 逃げ遅れをなくす的確な避難行動のための取り組み

【ソフト対策】 氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化 一刻も早く災害から復旧するための取り組み

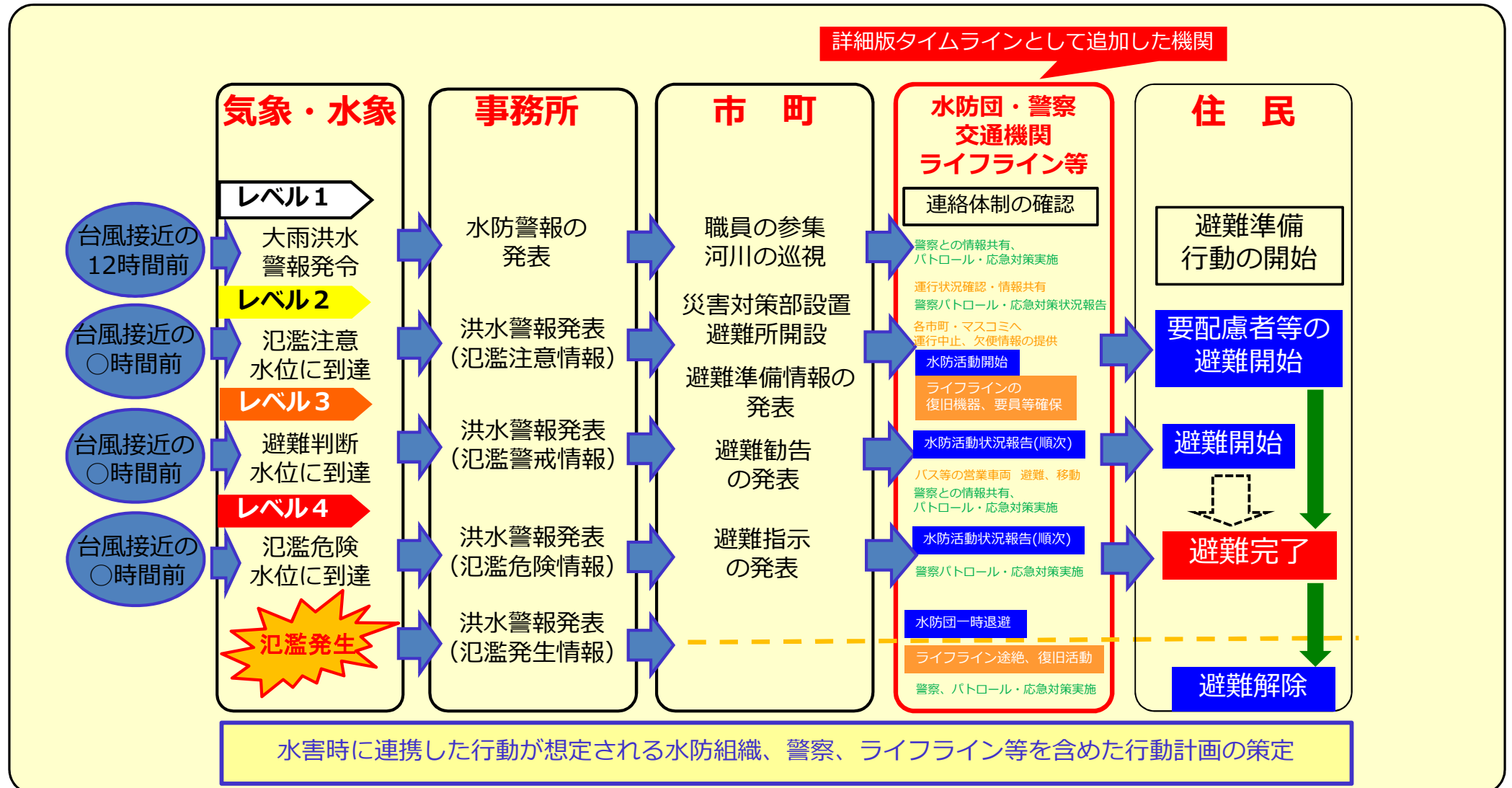
具体的な取組の柱		主な内容
事項		
具体的取組		
1. 逃げ遅れをなくす的確な避難行動のための取り組み		
■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成 ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの作成 ・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善（活用訓練等の実施） ・タイムラインの作成支援 	
■ハザードマップの作成・周知等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町を越えた広域避難計画の検討 ・想定最大外力を対象とした浸水想定区域図の策定・公表 ・想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表 ・ハザードマップの更新・周知 ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討 	
■防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動をさらに進めるため、福井県内の小学生の参加者数（応募者数H26年度:95点⇒H27年度:178点）の増加を図り、域内全教育委員会に積極的に働きかける ・防災に関する補助教材を活用した小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み 	
■避難行動のための情報発信等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線の普及（無線のデジタル化等） ・避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等 ・防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供（配信） ・住民の避難行動を促すためブッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備 ・洪水予報文の改良と運用 	

具体的な取組の柱		主な内容
事項		
具体的取組		
1. 逃げ遅れをなくす的確な避難行動のための取り組み		
■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成 ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの作成 	
2. 氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化		
■水防体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認（タイムラインの活用も検討） ・市町を越えた水防訓練の検討 ・水防資機材の備蓄等の着実な確認 ・水防団員や消防団員の募集の強化、 ・自主防災組織の活用、強化 	
■水防活動支援のための情報公開、情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施 	
3. 一刻も早く災害から復旧するための取り組み		
■排水活動及び施設運用、ボランティア活動等の強化に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有 ・緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成 ・基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練 ・ボランティアの効率的な活動を支援するため、「福井県社会貢献活動支援ネットシステム」の活用できるような拡充を検討 	

: 既に実施した取り組み
 : 平成30年度の取組内容

関係者の役割分担を、より明確にしたタイムラインの作成

・台風や大雨などの災害に対して計画的に防災体制を準備することを目的に、複数の機関が時系列で防災活動を展開できる「詳細版タイムライン」の作成に着手しました。

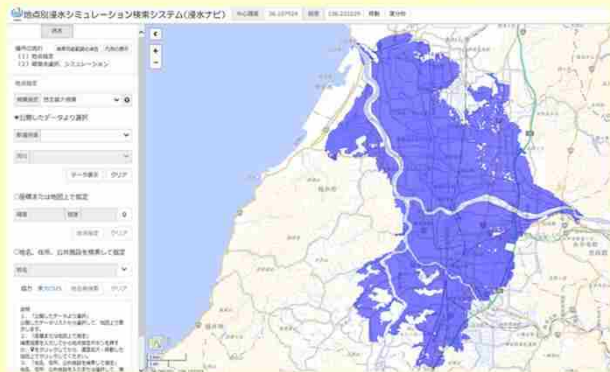


想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表

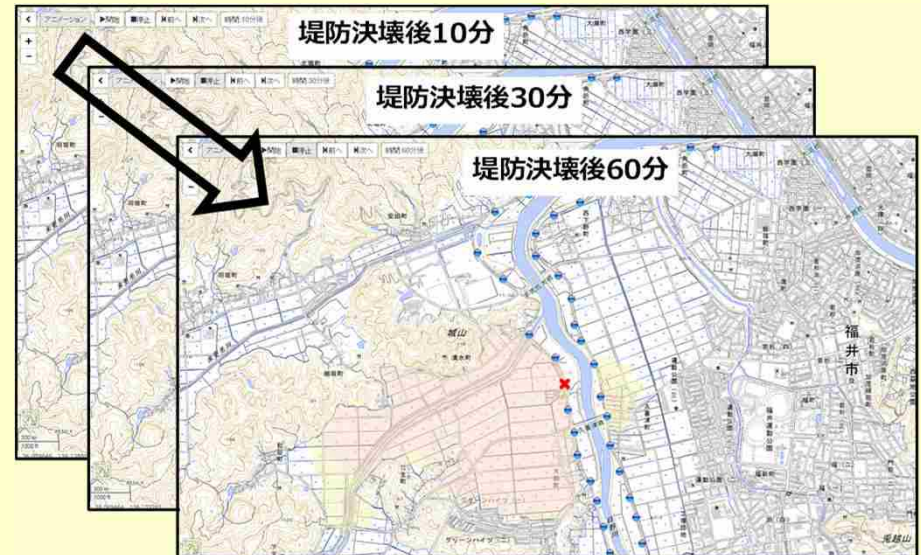
・浸水リスクの把握などの情報提供を目的に、浸水区域や水深、洪水の広がりを時系列で確認できる「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)を公表しています。



「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)
<https://suiboumap.gsi.go.jp/>



九頭竜川における浸水範囲 (想定最大規模)



時系列で氾濫の広がり方を確認出来ます

「わが家のぼうさいコンテスト」など参加型防災啓発活動の実施

・小学生をはじめ、ご家族や地域の方々の防災意識向上や、次の世代へ防災意識の継承を目的に、第5回目となる「わが家のぼうさいコンテスト」を開催しました。

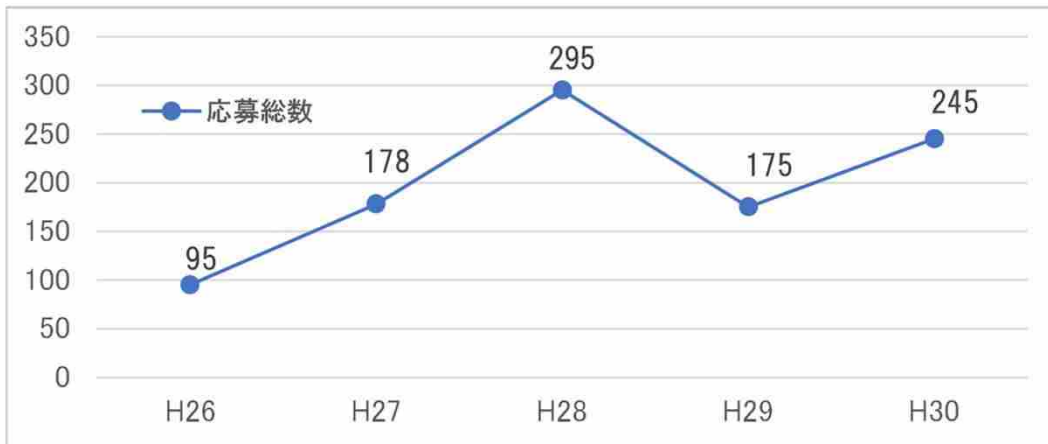
第5回 わが家のぼうさいコンテストを開催!

福井県内の小学生を対象として、地域の危険な場所や避難場所、家族で相談した約束事などを盛り込んだ防災マップの作成に取り組んでいただきました。平成26年度から始めた本コンテストも今回で5回目を迎え、今回も245点の応募をいただきました。開催を重ねるごとにテーマに沿った素晴らしい作品が多くなっており、地域の防災意識向上に寄与しています。

応募対象：福井県内の小学生
 募集期間：平成30年6月22日(金)～平成30年9月6日(木)
 審査会：平成30年9月20日(月)
 表彰式：平成30年10月8日(祝)
 主催：ふくいの水防災を考える会
 (国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)
 主催：NHK福井放送局、福井新聞社
 後援：福井県教育委員会



表彰式の様子

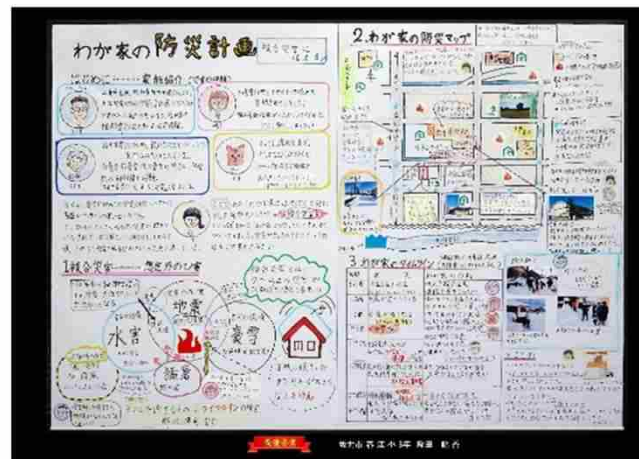


応募数の推移 (H26～H30)

なるほど防災教室



表彰式にあわせて、受賞作品のパネル展や福井県による防災出前教室、福井地方気象台による実験コーナーでの体験学習の他、福井県内の水害のパネル展などを行いました。



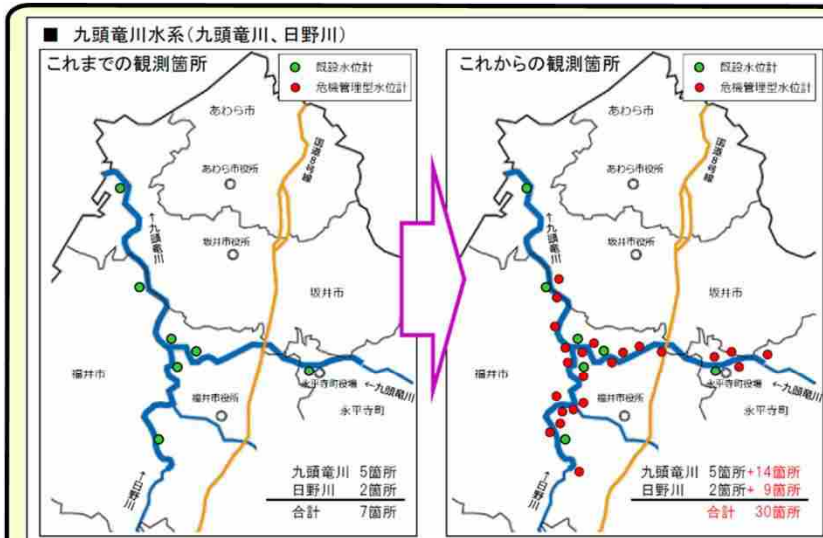
最優秀賞作品

- ・最優秀賞 春江小5年 政田 鮎香
 - ・優秀賞 豊小5年 荒木 愛理
 - ・優秀賞 春江小5年 砂原 沙希
 - ・特別賞2名
 - ・入選10名
 - ・奨励賞20名
- 【応募総数：245点】

受賞者

危機管理型水位計やCCTVカメラの情報を提供

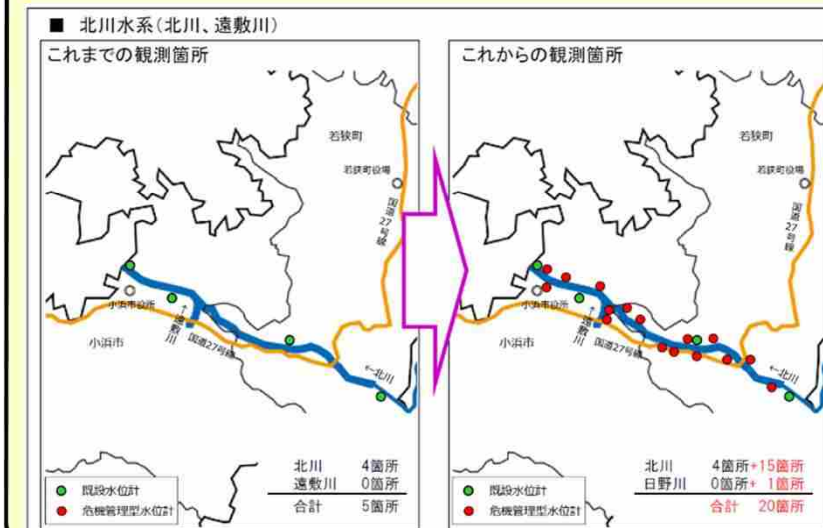
・水害リスクの高い箇所には水位計を設置し、大雨や台風時に河川の水位を、よりきめ細やかに把握することが出来る。「川の防災情報」にて公開中です。



川の水位情報
QRコード



川の防災情報HPにある「川の水位情報」画面



危機管理型水位計 (九頭竜川左岸14.6k 福井市岸水町)

住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信

・洪水時の逃げ遅れをなくすことを目的に、平成29年より運用を開始している洪水予報等のプッシュ型情報配信を、各市町の広報誌に改めて掲載して頂きました。

洪水情報が**緊急速報メール**で発信されます！

平成29年5月から、国が管理する九頭竜川および日野川で、川が氾濫する可能性が高まった時に、その周辺にいる人に氾濫の危険をお知らせする情報が自動で発信されるようになりました。

洪水情報のプッシュ型配信イメージ

緊急速報メールが来たらまずチェック！

国土交通省 川の防災情報

川の水位が分かる

川に設置した水位計で、近くの川の水位がどのような状況になっているのか、リアルタイムで確認することができます。

川の状況が分かる

CCTVカメラの映像で、現在の川の様子や、川に近づきすぎた状況を知ることができます。

川の状況が分かる

川の状況が分かる

アクセス!

パソコンから <http://www.river.go.jp/>
スマートフォンから <http://www.river.go.jp/s/>

※モバイルは「お断り」を選択

スマホ版「川の防災情報」では、位置情報を取得することで、今いる場所の雨の様子や近くの川の状態をすぐに見ることができます。

問合せ 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 河川管理第一課 ☎ 35-2661

広報誌での「川の防災情報」周知

お知らせ

緊急速報メール

洪水情報のプッシュ型配信イメージ

緊急速報メールが来たらまずチェック!

国土交通省 川の防災情報

川の水位が分かる

川の状況が分かる

緊急速報メールが来たらまずチェック!

国土交通省 川の防災情報

問合せ 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 河川管理第一課 ☎ 35-2661

基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練

・被災時に各市町に貸し出される災害用車両を円滑に活用できるように、各市町の防災担当者向けの講習会を開催しました。



自治体職員による排水ポンプ設置・撤去実習



Ku-SAT II 衛星小型画像伝送装置の説明



災害用照明車両に関する説明



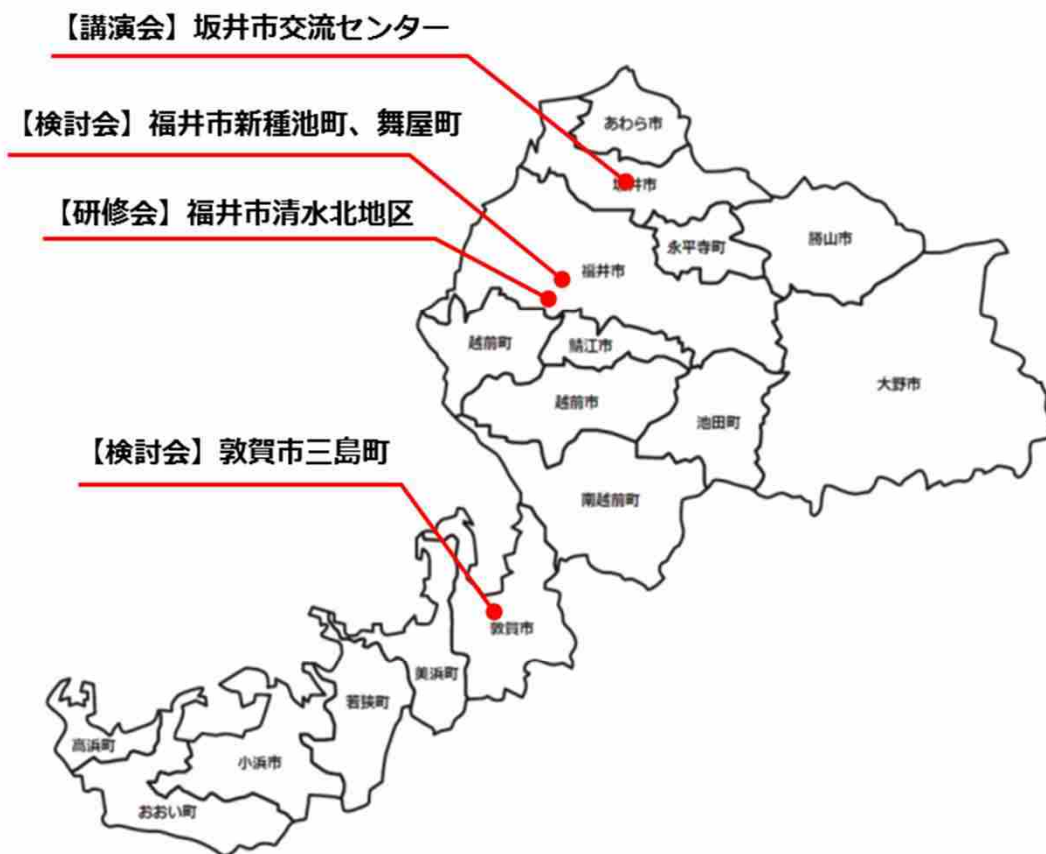
衛星通信車両に関する説明

実施内容

日時 : 平成30年6月26日(火) 13~15時30分
場所 : 福井県鯖江市水落町地先(鯖江除雪基地構内)
参加人数: 50名
訓練内容: 「近畿地方整備局の災害対応支援」
: 「災害対策用機械の留意点」
: 「操作訓練説明」
: 「要請書作成訓練、操作訓練」

マイタイムライン

・住民一人ひとりが、自分自身に合った避難に必要な情報を取得・判断・行動を把握し、「自分の逃げ方」を手に入れるための、「マイタイムライン」研修会を開催しました。



マイタイムライン検討会・講演会等実施箇所

福井県による説明、福井地方気象台、参加者による熱心な討論、ドラゴンリバー交流会、福井河川国道事務所

概要	
日時:	平成30年11月17日(土) 13:30~16:30
場所:	福井市清水北公民館仮庁舎
参加人数:	33名
主催:	清水北地区自主防災会、NPO法人 ドラゴンリバー交流会、福井地方気象台、福井県、福井河川国道事務所

研修内容	
出前講座	<ul style="list-style-type: none"> 「土砂災害から身を守るために」(福井県砂防防災課) 「土砂災害に関する気象情報」(福井地方気象台) 「福井県におけるマイ・タイムラインの取り組み」(NPO法人 ドラゴンリバー交流会) 「マイ・タイムラインを作ってみよう！」(福井河川国道事務所)

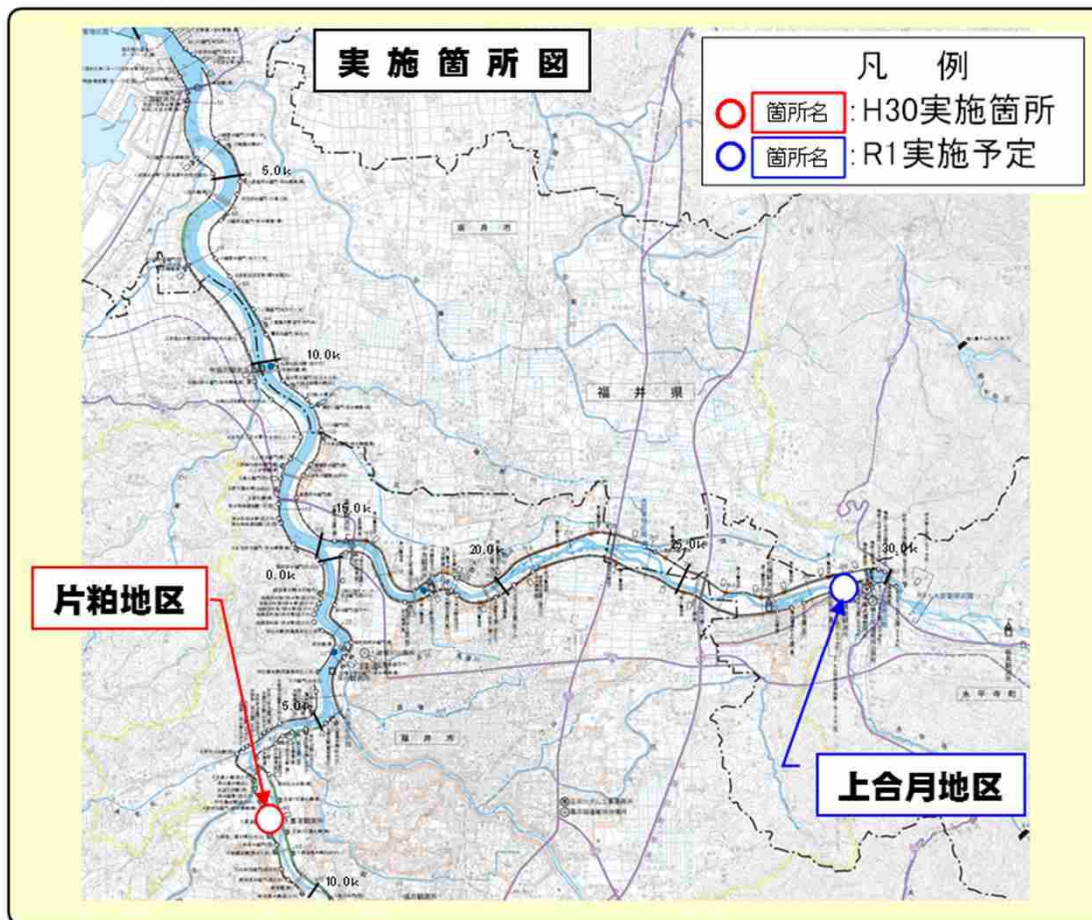
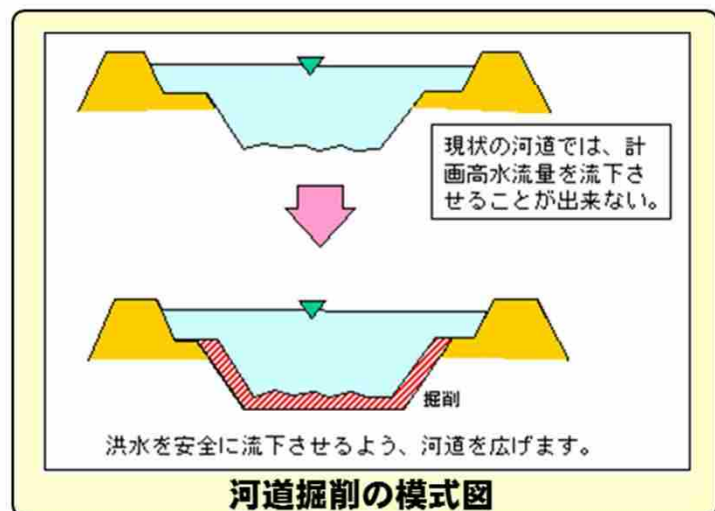
参加者の声

- ・(避難行動について)考えるきっかけになりました。
- ・(大雨によって)自宅周辺がどのようになるか具体的に知りたい。
- ・今までは台風ニュースを見て他人事であったが、今回を機に見る目が変わったと思った。
- ・情報入手と早く行動することや家族と話し合い自助・共助・公助等、勉強になりました。

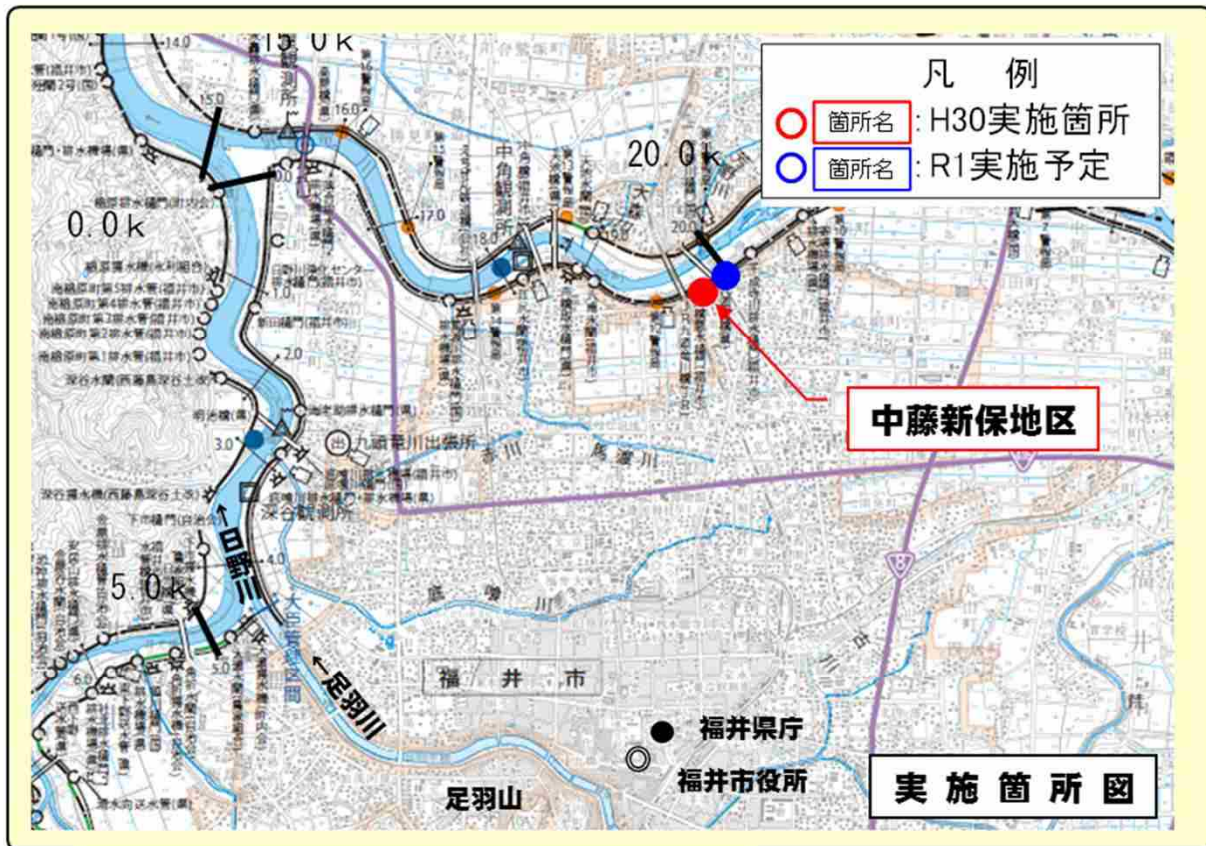
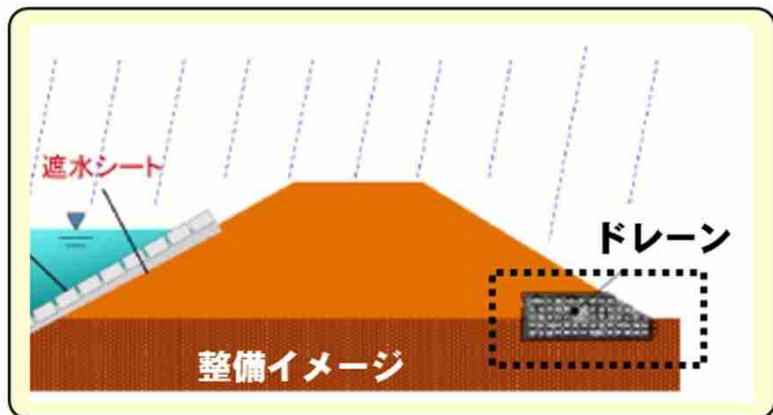
11/17 清水北公民館仮庁舎
「マイ・タイムラインを作ってみよう！」防災研修会
(国土交通省)

「マイ・タイムライン」とは
平成27年9月の関東・東北豪雨をきっかけに住民一人ひとりが自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し「自分の逃げ方」を手に入れるため鬼怒川ではじまった取り組みです。

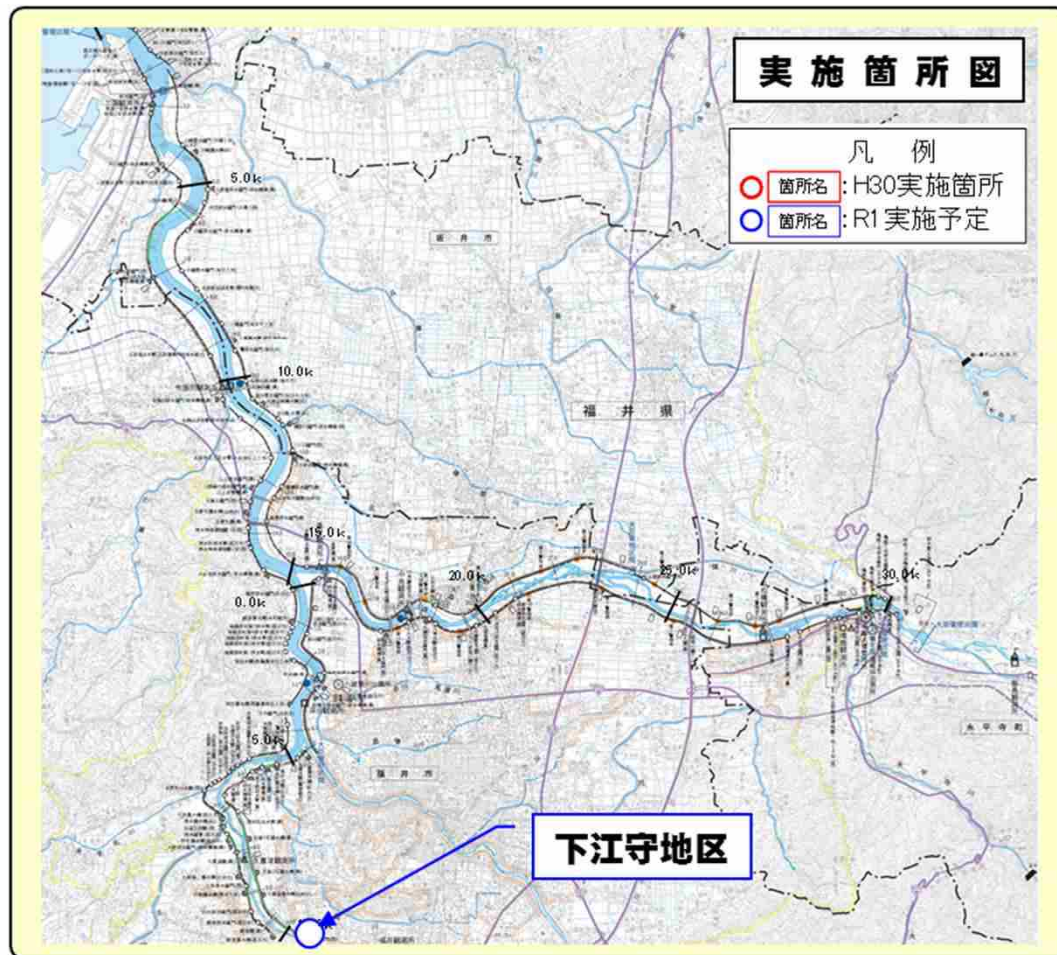
洪水を河川内で安全に流す対策 片粕地区河道掘削



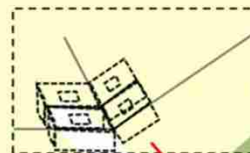
洪水を河川内で安全に流す対策 堤防整備



堤防裏法尻の補強

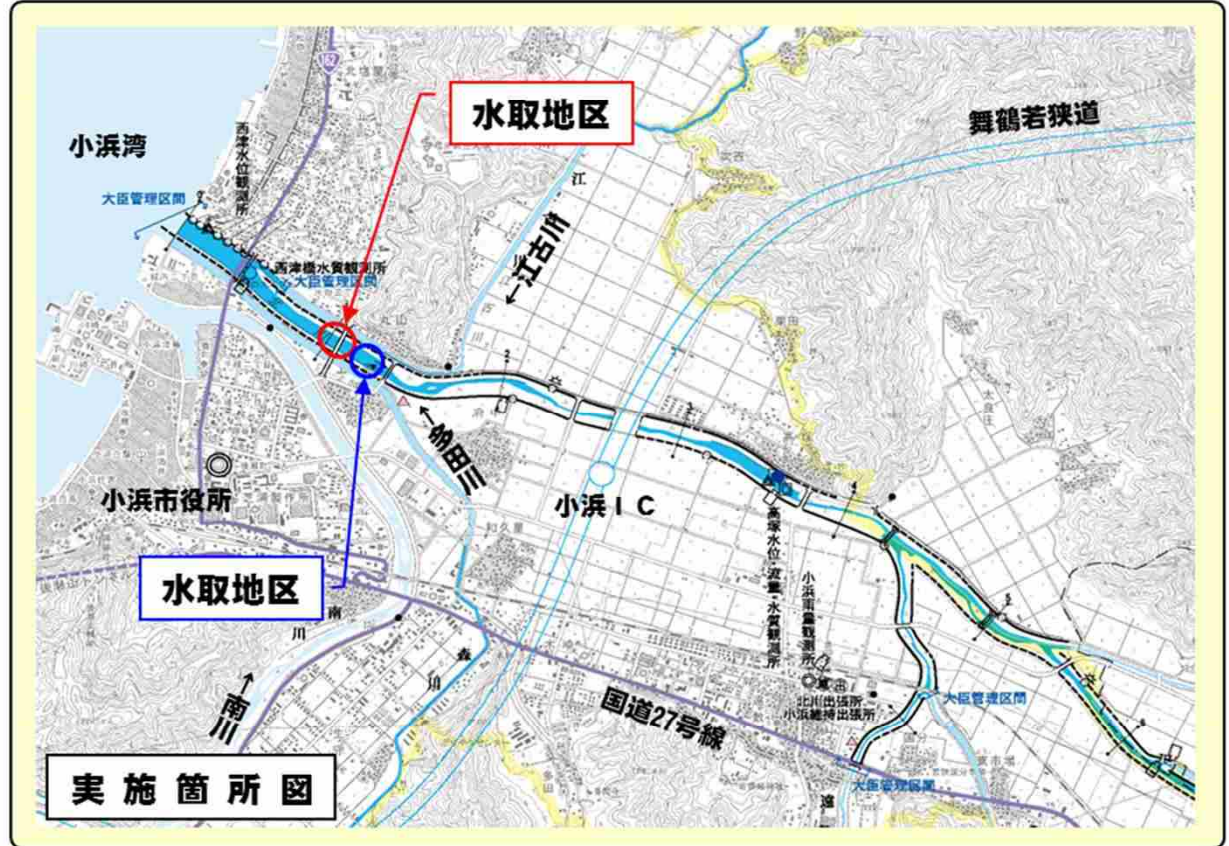


堤防裏法尻補強の模式図



越水による深掘れを遅らせることで、決壊までの時間を延ばす。

洪水を河川内で安全に流す対策 水取地区河道掘削



福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会




県協議会の取組内容に関する実施状況
と今後の取組について

減災に係る取組内容

H29年12月に策定した「減災に係る取組方針」において、H30年度に実施した取組内容を報告します。

具体的な取組の柱		主な内容
事項		
具体的取組		
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取り組み		
①情報伝達、避難計画に関する事項		
a. 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等	★	a1 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成 a2 タイムラインの検証と改善（更新） a3 関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの作成 ★ a4 タイムラインの作成支援
b. 避難行動のための情報発信等	★	b1 防災行政無線の活用推進のための検討・促進 b2 防災メール、SNSの利用登録促進 b3 雨量、河川水位、河川監視カメラ映像などの情報を提供（配信）および住民利用促進のための周知・啓発 b4 氾濫の危険性や切迫度がより伝わるよう洪水予報文の改良と運用 b5 洪水危険度分布および予測値の利活用促進 b6 災害発生時の恐れがある場合の首長とのホットラインによる国、県と市町の状況共有 b7 要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項		
c. ハザードマップの作成・周知等	★	c1 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図等の作成 c2 想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップへの更新・周知 c3 市町を越えた広域避難計画の検討
d. 防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充	★	d1 小中学校や地域住民への防災に関する出前講座やパネル展の実施
③円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項		
e. 避難行動、水防活動に資する施設等の整備	★	e1 早期の避難勧告等の発令判断や水防活動を支援するため、水位計・量水標、河川監視カメラ設置の検討と情報共有 e2 水位周知河川等の見直し e3 氾濫危険水位等の基準水位の見直し
f. 洪水を河川内で安全に流す対策	★	f1 河川改修の推進 ★ f2 浚渫・伐木
g. 危機管理型ハード対策	★	★ g1 堤防天端舗装

(2) 的確な水防活動のための取り組み		
①水防活動の効率化および水防堆積強化に関する事項		
h. 水防活動支援のための情報共有	★	h1 重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施
i. 水防体制の強化	★	i1 水防資機材の備蓄等の確認 i2 水防団員や消防団員の募集の強化 i3 自主防災組織の活用、強化 i4 水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認（タイムラインの活用も検討）
②市町庁舎等の自衛水防の推進に関する事項		
j. 洪水時の庁舎等の機能確保のための対策の充実	★	j1 庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策
(3) 一刻も早い復旧のための取り組み		
k. 排水活動等の強化	★	k1 排水ポンプ車等を用いた排水訓練の実施
l. 災害復旧に対する支援の強化	★	l1 福井県災害復旧アドバイザー派遣制度の活用・支援 l2 大規模災害発生時に緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の活用

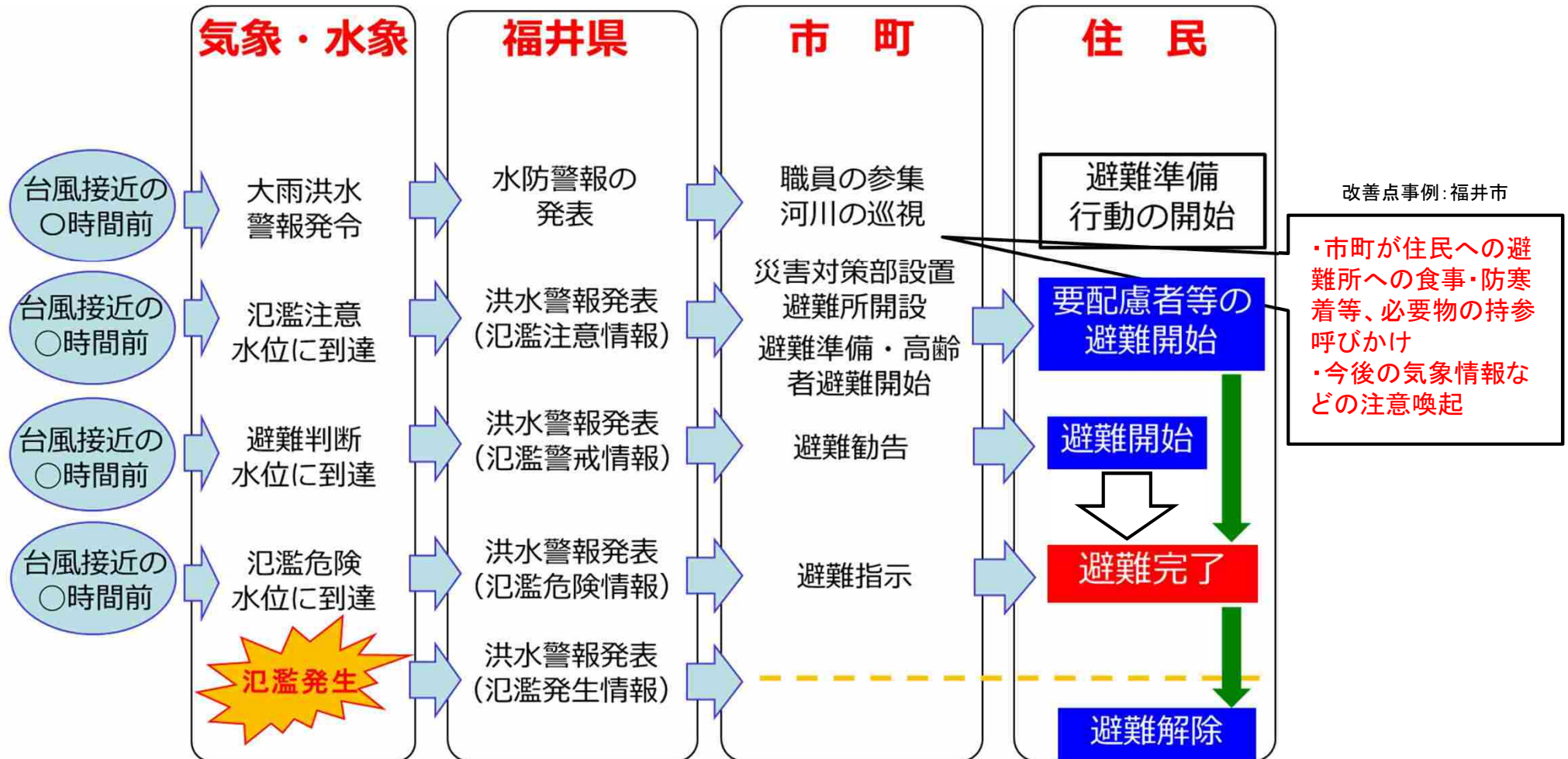
	: 既に実施した取組
	: 平成30年度実施取組内容
★	: 平成30年度代表的取組内容
	: 今年度重点的取組内容

a. 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

a2 タイムラインの検証と改善

H30年6月に策定した県管理河川における避難勧告等の発令に着目したタイムラインについて、30年出水で県内すべての市町で検証を行い、有効であることが確認できました。今年度も検証を行い、引き続きよりよいものに改善をしていきます。



c1. 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図等の作成

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

平成27年度の水防法改正に伴い、県管理の洪水予報河川および水位周知河川について、対象降雨を、これまでの「計画規模の降雨」に変え「想定し得る最大規模の降雨」により想定される浸水の「区域」「水深」「継続時間」を指定しました。

H18~19

福井県において「計画規模の降雨」により想定される「浸水想定区域」を指定。

各市町においてハザードマップの作成

【平成27年度 水防法改正】 ※対象降雨を「計画規模」から「想定最大規模」変更

H28

国が直轄河川について「想定し得る最大規模の降雨」により想定される浸水の「区域」等を指定。

R元年6月4日

「想定し得る最大規模の降雨」により想定される浸水の「区域」等を指定。

県管理の全河川を対象とした「水害リスク図」の作成

R01~

各市町においてハザードマップの作成

洪水浸水想定区域を指定した河川 位置図

洪水予報河川： 5河川【日野川[※]、足羽川[※]、竹田川、笙の川、南川】



水位周知河川： 17河川【九頭竜川、日野川[※]、足羽川[※]、兵庫川、赤根川、清滝川、荒川、江端川、天王川、浅水川、鞍谷川、吉野瀬川、耳川、鮒川、遠敷川、佐分利川、関屋川】

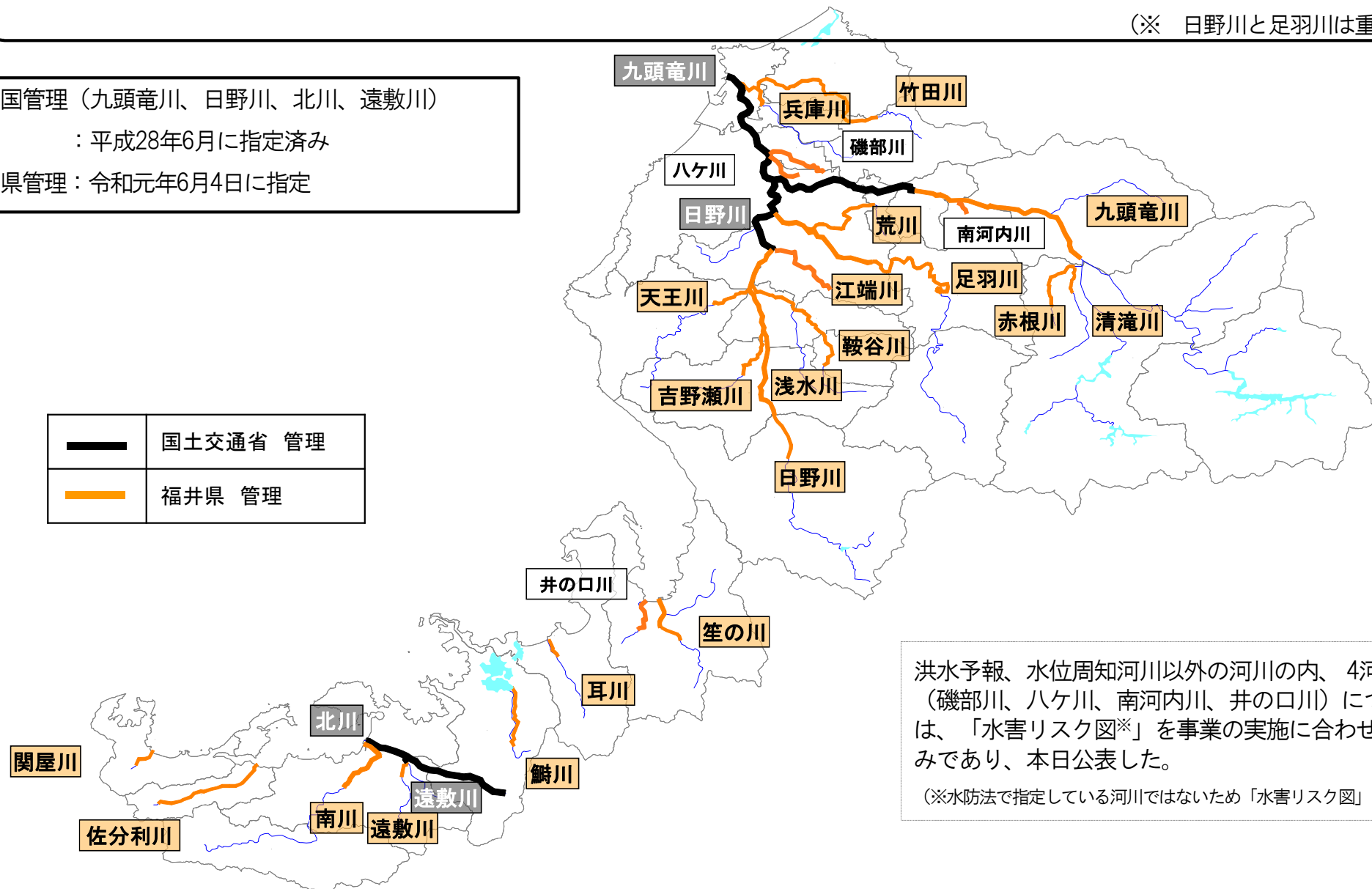
(※ 日野川と足羽川は重複)

国管理（九頭竜川、日野川、北川、遠敷川）

：平成28年6月に指定済み

県管理：令和元年6月4日に指定

	国土交通省 管理
	福井県 管理



洪水予報、水位周知河川以外の河川の内、4河川（磯部川、八ヶ川、南河内川、井の口川）については、「水害リスク図[※]」を事業の実施に合わせて作成済みであり、本日公表した。

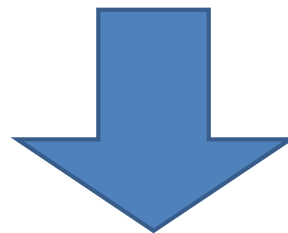
(※水防法で指定している河川ではないため「水害リスク図」と言う)

c1. 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図の作成

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

背景・課題

近年、計画規模を上回る大規模水害が発生し、浸水することを想定していなかった場所まで浸水し、避難場所が危険になる事態が発生している。



平成27年5月水防法改正の概要

現行の洪水に係る浸水想定区域について、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表（現行は、河川整備において基本となる降雨を前提とした区域）



H23.9 避難所浸水(三重県)

高岡避難所



H26. 8 避難所2階の浸水(徳島県)



c1. 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図等の作成

洪水浸水想定区域図は下記の様に活用を図ります。

○水害の危険性（浸水区域、浸水深、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸侵食））がある箇所の把握

○適切な避難場所、避難経路等の検討

避難行動の判断例

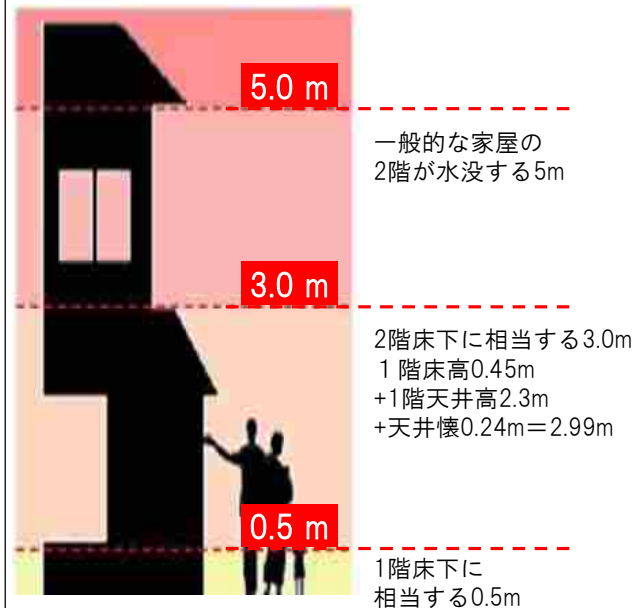
A：浸水深が深く家屋の倒壊の恐れがある場合は、直ちに避難所へ避難する。

B：浸水深は浅くても浸水継続時間が長い場合は、避難所へ避難する。

C：避難行動が遅れたが、浸水深が家屋の2階床下までであって短期間で解消される場合は高層階へ避難する。

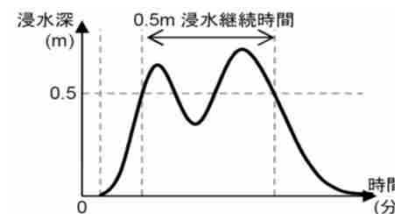
○市町村界を超えた広域的な避難の検討

浸水深の表示



浸水継続時間

氾濫水到達後、一定の水深（0.5m）に達してから、その浸水深を下回るまでの時間



凡例
浸水継続時間
(浸水深0.5m以上)

4週間以上
2週間～4週間
1週間～2週間
3日間～1週間
1日間～3日間
12時間～1日間
12時間未満または浸水深0.5m未満

【浸水深・浸水継続時間の両者より避難行動を判断（例）】

浸水深	浸水継続時間	避難行動
0.5m～3.0m未満	短期間で解消される	避難行動が遅れた場合、高層階へ退避（垂直避難）
3.0m以上	長期にわたり浸水が継続	事前の退避が必須（水平避難）

c2 想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップへの更新・周知

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

ハザードマップの作成方針

- ・主に水害等の住民避難に活用されることを目的とし、第一に住民目線で**避難行動が一目で分かる**ように作成
- ・「**災害発生前にしっかり勉強する場面**」「**災害時に緊急的に確認する場面**」を意識して、住民等へわかりやすく情報提供できるように作成
- ・**市町が作成し、各世帯に提供**

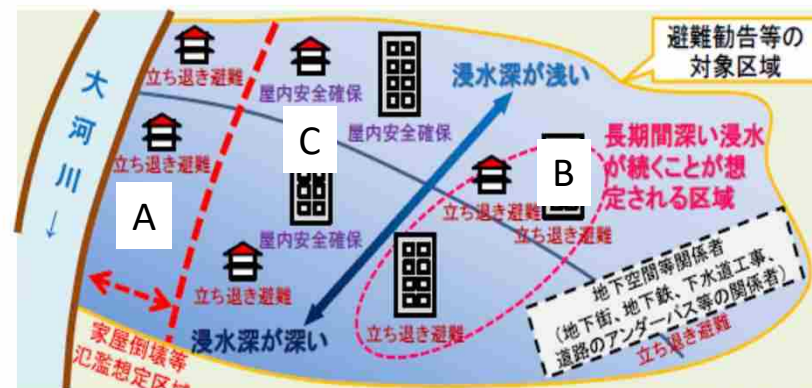
記載内容

- ①家屋倒壊等氾濫想定区域や長期間深い浸水が続くことが想定される区域について、「**早期の立退き避難が必要な区域**」として市町が設定
- ②「**早期の立退き避難が必要な区域**」における**避難行動の説明**
- ③浸水深や家屋倒壊等氾濫想定区域等の**浸水情報**
- ④**凡例等**(最低限の浸水情報等の説明に限る)
※広域避難を含む避難手法、複数災害の取扱いに関する検討も行う

予算措置

防災安全交付金の効果促進事業(国庫補助率2分の1)を活用

ハザードマップ記載例



早期の立退き避難が必要な区域のイメージ

b7 要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

背景・必要性

平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等では、**避難勧告等の危険度に関する認識不足で多数の死者**や甚大な経済被害が発生。
「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を根本的に転換し、ハード・ソフト対策を一体として、社会全体でこれに備える水防災意識社会の再構築への取組が必要

課題解決の方向性

「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現し、同様の被害を二度と繰り返さない抜本的な対策が急務。

平成29年6月の水防法改正の概要

洪水のリスクが高い区域に存する要配慮者利用施設の所有者、管理者は、**避難確保計画及び避難訓練の実施を義務化**

市町の役割

(水防法第15条第3項)

- ・洪水浸水想定区域内の対象となる**要配慮者利用施設を拾い出し、市町の地域防災計画に記載**する。
- ・対象施設の避難確保計画作成や避難訓練実施について**支援**を行う。
- ・避難確保計画を**作成していない施設管理者等**に対して、期限を定めて**作成することを求める**などの指示を行い、その**指示に従わなかった場合**には、その旨を**公表**することができる。



9月1日 国土地理院撮影

平成28年台風10号により、岩手県の要配慮者利用施設では利用者9名の全員が死亡。(小本川)

e. 避難行動、水防活動に資する施設等の整備

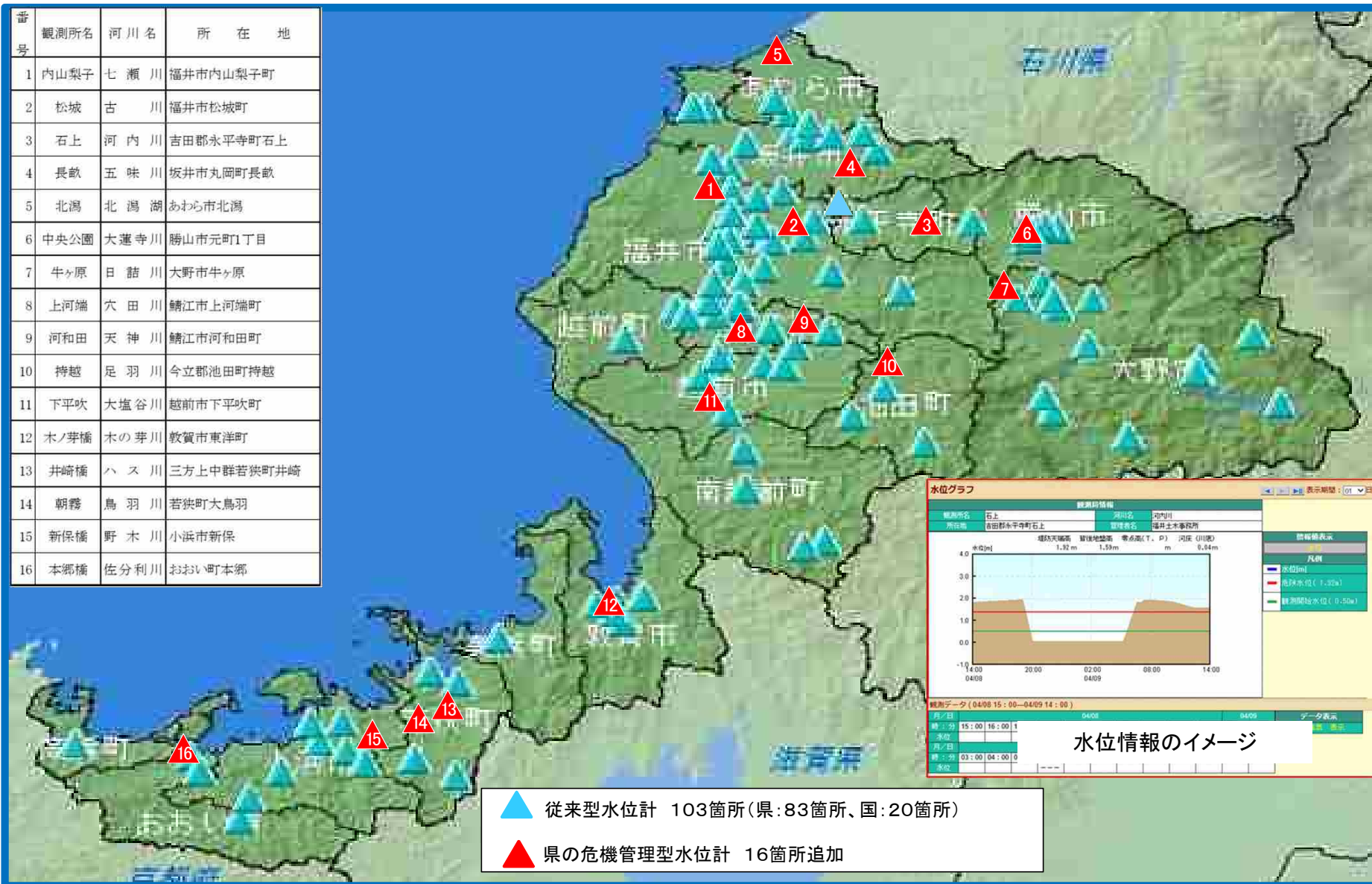
福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

e1 水位計・量水標・河川監視カメラ設置の検討と情報共有

迅速な住民避難につながる情報提供を行うため、市役所・役場、学校、福祉施設、避難所など重要な施設や住宅密集地が浸水するおそれがある16箇所に洪水時の水位観測に特化した水位計(危機管理型水位計)を設置しました。

県HP(福井県河川・砂防総合情報)において、従来の水位計とあわせて合計119箇所の水位情報が確認できます。

番号	観測所名	河川名	所在地
1	内山梨子	七瀬川	福井市内山梨子町
2	松城	古川	福井市松城町
3	石上	河内川	吉田郡永平寺町石上
4	長畝	五味川	坂井市丸岡町長畝
5	北潟	北潟湖	あわら市北潟
6	中央公園	大蓮寺川	勝山市元町1丁目
7	牛ヶ原	日詰川	大野市牛ヶ原
8	上河端	穴田川	鯖江市上河端町
9	河和田	天神川	鯖江市河和田町
10	持越	足羽川	今立郡池田町持越
11	下平吹	大塩谷川	越前市下平吹町
12	木ノ芽橋	木の芽川	敦賀市東洋町
13	井崎橋	ハス川	三方上中群若狭町井崎
14	朝霧	鳥羽川	若狭町大鳥羽
15	新保橋	野木川	小浜市新保
16	本郷橋	佐分利川	おおい町本郷



e. 避難行動、水防活動に資する施設等の整備

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

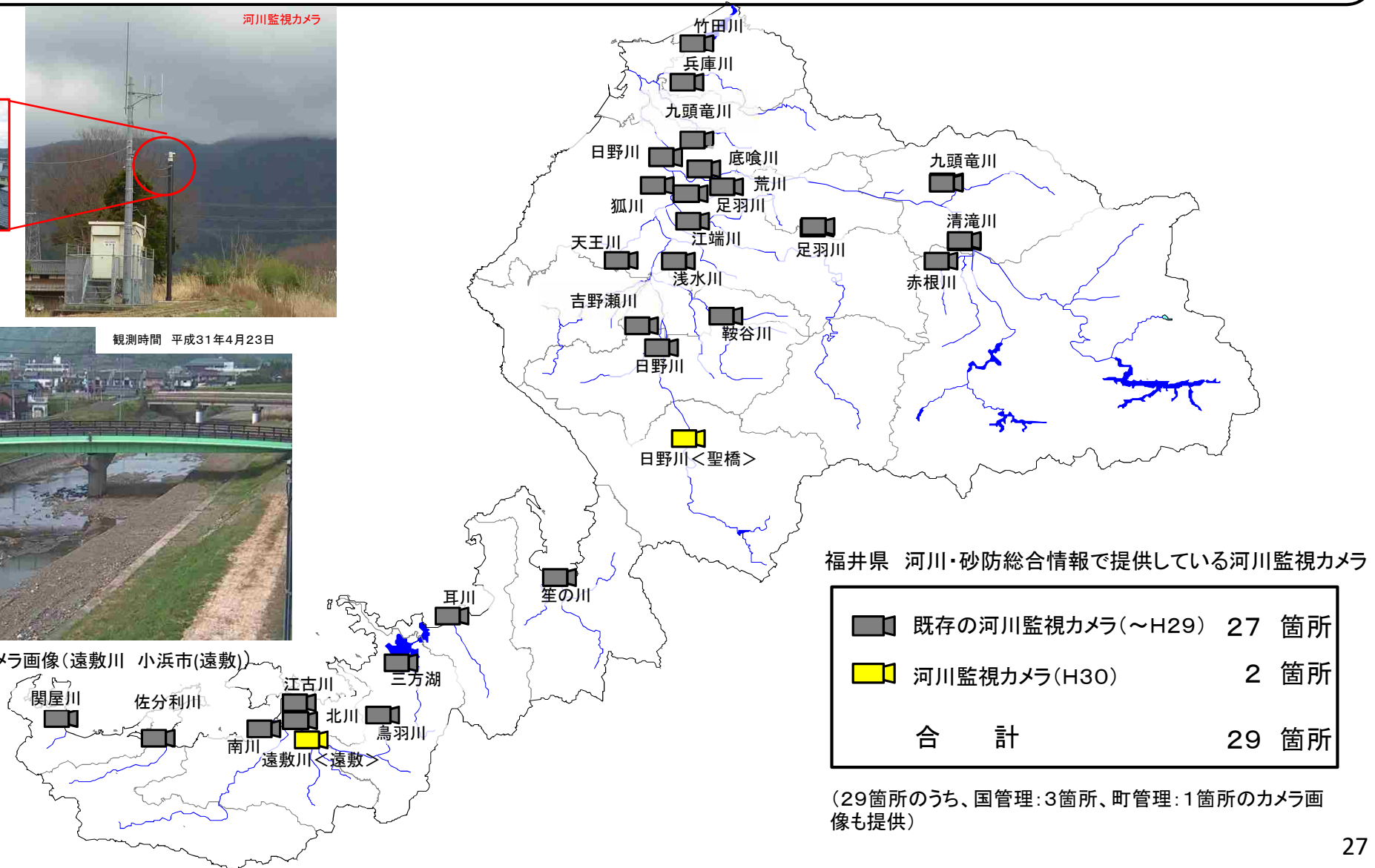
e1. 水位計・量水標・河川監視カメラ設置の検討と情報共有

迅速な住民避難につながる情報提供を行うため、洪水により甚大な被害が発生するおそれがある2箇所（日野川（南越前町）、遠敷川（小浜市））に河川監視カメラを設置しました。

県HP（福井県河川・砂防総合情報）において、既存の河川監視カメラとあわせて合計29箇所のカメラ画像が確認できます。



河川監視カメラ画像（遠敷川 小浜市（遠敷））



福井県 河川・砂防総合情報で提供している河川監視カメラ

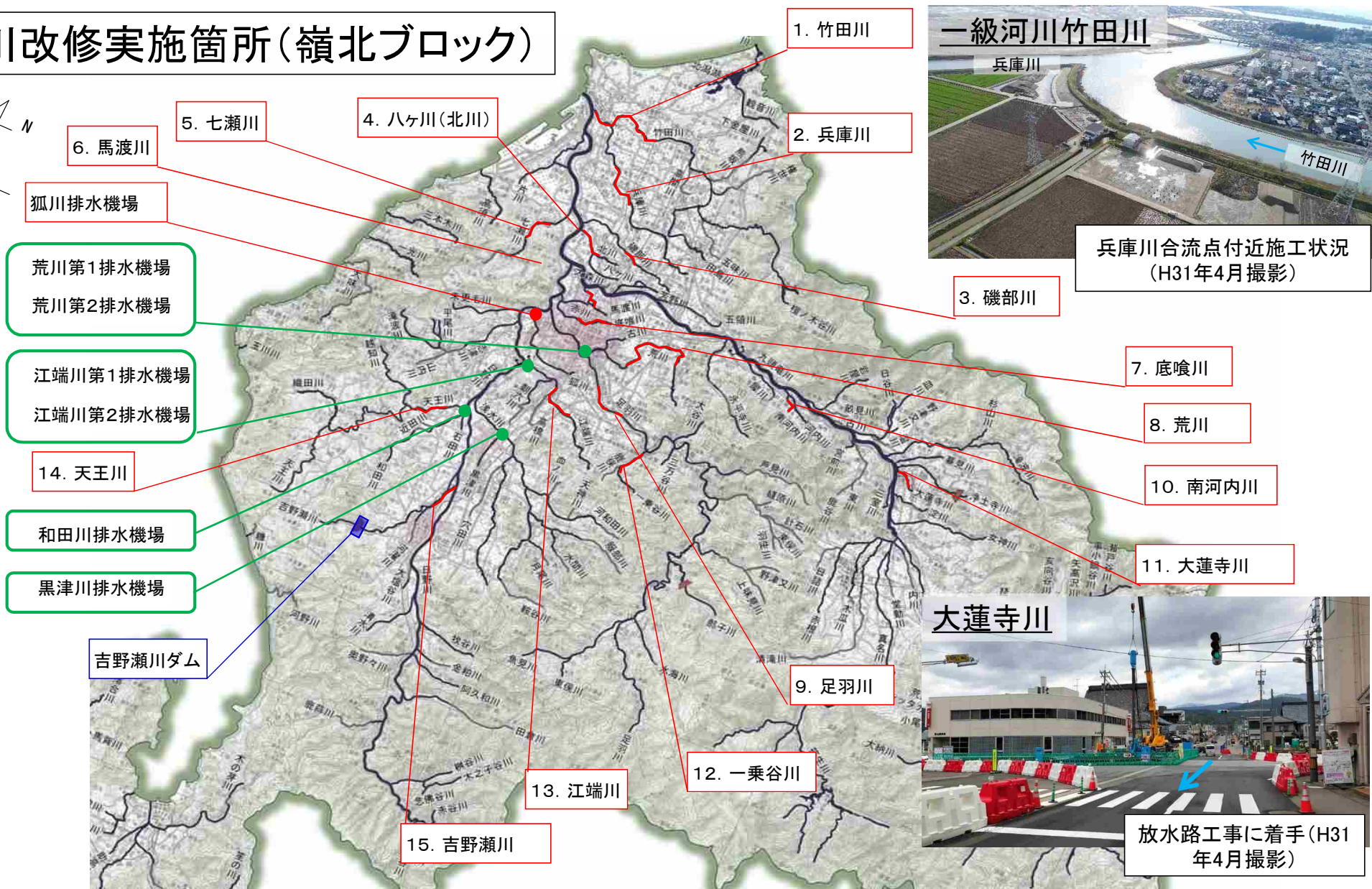
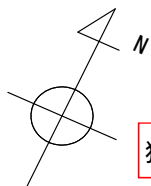
	既存の河川監視カメラ（～H29）	27 箇所
	河川監視カメラ（H30）	2 箇所
合 計		29 箇所

（29箇所のうち、国管理：3箇所、町管理：1箇所のカメラ画像も提供）

f. 洪水を安全に流す対策

平成30年度は、嶺北ブロックでは15河川と吉野瀬川ダムの整備、排水機場の老朽化対策等を実施しました。

河川改修実施箇所(嶺北ブロック)



f. 洪水を安全に流す対策

平成30年度は、嶺南ブロックでは5河川と河内川ダムの整備等を実施しました。

河川改修実施箇所(嶺南ブロック)



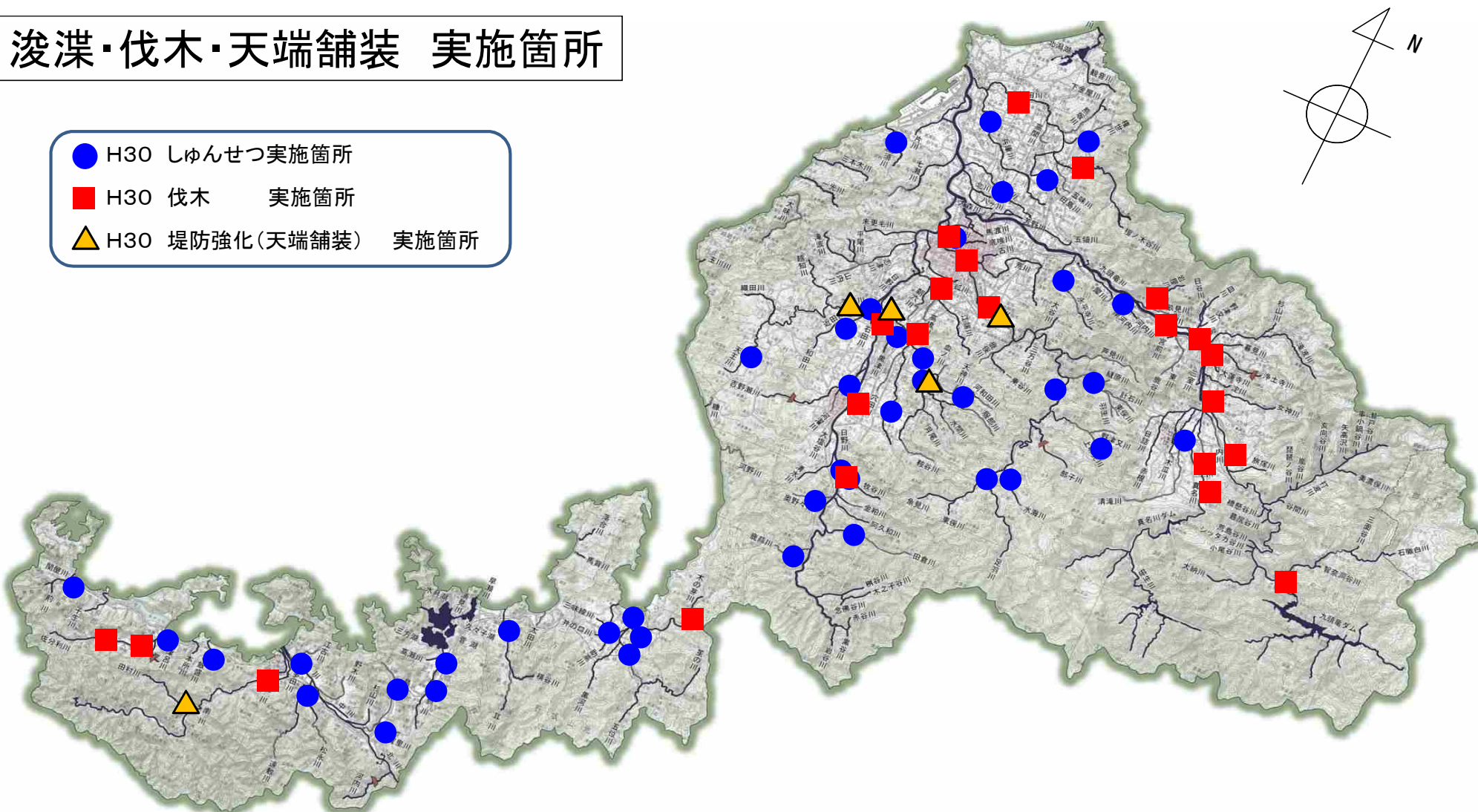
f. 洪水を安全に流す対策

○安全に洪水を流下させるために堆積土砂のしゅんせつ、伐木等を実施しました。

○平成30年度補正予算からは、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」も活用し、しゅんせつ・伐木を推進しました。

浚渫・伐木・天端舗装 実施箇所

- H30 しゅんせつ実施箇所
- H30 伐木 実施箇所
- ▲ H30 堤防強化(天端舗装) 実施箇所



f. 洪水を安全に流す対策

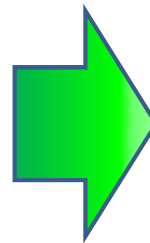
浚渫実施事例

笙の川（敦賀市三島町）



伐木実施事例

真名川（大野市木落）



j. 洪水時の庁舎等の機能確保のための対策の充実

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

j1 庁舎受電設備・非常用発電設備等の浸水対策

非常用発電設備を水防倉庫2階に設置し、洪水時の庁舎機能確保の対策を行いました。

非常用発電設備設置
場所(2F)



小浜市役所敷地内にある水防倉庫

非常用発電設備



水防倉庫2階に設置した非常用発電設備

參考資料

b. 避難行動のための情報発信等

b2 防災メール、SNSの利用登録促進

適切な避難判断に役立ててもらえるよう防災メールやi-ameメール等の防災情報利用者促進を図るため、広報誌の掲載や防災講座等でチラシの配布を行いました。

i-ameメール (福井県河川・砂防協会情報メール)
携帯・スマホに 河川や土砂災害の危険情報を リアルタイムでお知らせ
危険を感じたら早めの避難を!

配信される情報 ※ 情報の種類・対象河川は登録時に選択できます。
洪水予報 県管理の河川(足羽川、玉の川、日野川中流、竹田川、南川)について洪水の恐れが高まり、県と福井地方気象台が共同で**洪水予報**を発表したとき、メールの配信されます。
水位 観測された水位が基準に達したとき、メールが配信されます。
土砂災害警戒情報 土砂災害の恐れが高まり、県と福井地方気象台が共同で**土砂災害警戒情報**を発表したとき、メールが配信されます。
雨量 観測された雨量が警戒値に達したとき、メールが配信されます。
気象警報等 福井地方気象台が**気象注意報・警報・特別警報**を発表したとき、メールが配信されます。

登録方法 i-ameメール で検索
<http://i-ame.pref.fukui.lg.jp/>
 福井県土木部総合防災課

◇ おおい町メール配信サービス・防災ツイッター ◇

緊急情報 メールサービス 登録する
 ・防災情報(気象警報、土砂災害警戒情報、避難所開設情報、避難勧告等の情報)をはじめ、町内の行事・イベントや子育て情報等をメールで配信します。
 登録はこちらから!
 QRコード

おおい町防災ツイッターをチェック
 おおい町防災ツイッター @seums21953758
 【気象警報】おおい町
 9月18日(4時11分) ※注意報省略
 短縮: 大雨警報
 2017年9月18日
 ・防災情報(気象警報、土砂災害警戒情報、避難所開設情報、避難勧告等の情報)をツイッターで配信します。
 こちらからフォロー!
 QRコード

防災メール、ツイッター登録方法(おおい町)

敦賀市防災情報配信メール (TonBo メール) への登録方法

1 携帯電話・パソコン等のEメールの新規作成画面を開いて、宛先メールアドレスに **tonbo@tonbo.ton21.ne.jp** を入力してメール送信してください。
 ※メールアドレスは個人用メールアドレスです。
 ※または、QRコードを読み込んで送信してください。
 ※受信する情報を変更する場合は、tonbo@tonbo.ton21.ne.jp にメールを送信してください。
 ※登録を解除する場合は、tonbo@tonbo.ton21.ne.jp にメールを送信してください。

2 しばらくするとメールが送られてきます。
 クリック!

3 表示された画面に従って登録作業を行ってください。

4 登録が完了しました。

防災メール登録方法のチラシ(敦賀市)

福井市防災気象情報メールシステムが新しくなりました

最終更新日 2019年2月13日 印刷

福井市では、防災気象情報(パソコン(スマートフォンを含む)と携帯電話で閲覧できます。また、一部の気象警報・注意報、地震情報、災害時の避難勧告・避難指示などの避難に関する情報などをメールでお知らせしますのでぜひご利用ください。

平成30年11月から福井市の公民館区別で細分化して登録できるようになりました。登録方法は下記をご覧ください。

【福井市 防災気象情報メール】

1 登録方法
 登録方法
 登録方法

2 登録方法
 登録方法
 登録方法

3 登録方法
 登録方法
 登録方法

防災気象情報システム登録チラシ(福井市)

i-ameメール登録のチラシ(福井県)

九頭竜川北川大規模氾濫減災協議会
福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

共通の取組内容に関する実施状況について

水防活動支援のための情報共有

【国・県共通】

重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施

河川管理者と関係市町と共同で重要水防箇所の点検を実施し、情報共有を図りました。
引き続き、共同点検を実施し、水防活動、住民避難に役立てていきます。



実施日：H30.7.30

重要水防箇所の共同点検(勝山市遅羽町比島)



実施日：H30.5.30

重要水防箇所の共同点検(九頭竜川右岸5.3 k)



実施日：H30.6.1

重要水防箇所の共同点検(北川左岸2.4 k)



実施日：H30.6.1

重要水防箇所の共同点検(九頭竜川左岸19.6 k)



実施日：H30.5.30

重要水防箇所の共同点検(九頭竜川左岸27.4 k)



実施日：H30.6.1

重要水防箇所の共同点検(北川右岸11.1 k)

水防体制の強化

【国・県共通】

水防資機材の備蓄等の確認

的確な水防活動が実施できるよう出水期前に水防倉庫内の資機材の備蓄状況の点検を行いました。
引き続き、水防資機材等の適切な配備に努めていきます。



実施日：〇月〇日

点検状況(あわら市)



実施日：11月15日

点検状況(永平寺町)



点検状況(福井市)



実施日：6月1日

点検状況(敦賀市)

水防団員や消防団員の募集の強化

水害から人命や財産を守る水防活動の担い手を確保するため、水防団員や消防団員の募集活動や広報を行いました。

消防団は、「消火活動、救助活動、水防活動」など災害時の活動をはじめ、「防火・防災啓発活動、消火・防災訓練、救命講習会」など幅広い活動を行っています。『自分たちの町は自分たちで守る』という信念のもと、地域に密着し活動を展開しています。

地域の安心・安全を守るために、あなたの力を！
消防団員募集 **女性団員同時募集**

入団資格：永平寺町内に居住または勤務している方で、年齢18歳以上の健康な方
現在、会社員・自営業者・学生・主婦など、男女問わず幅広い年齢・職種の方々が消防団員として活躍中！

志保中地区のみなさん

このまちを守る消防団

県大会 準優勝!

志保中分団は7月21日に行われた福井県消防操法大会に出場しました。選手6名は4月から約3か月間、消防の基礎となる礼式訓練やポンプ操法訓練を重ねてきました。

礼式訓練では「気をつけ」や「まわれ右」などの動きを細かく見直し、一糸乱れぬ動作を身につけることができました。ポンプ操法では、選手が協力してホースを延ばして放水し、標的を割るまでの訓練を繰り返し繰り返し行ってきました。訓練後半には、1秒でもタイムを縮めるためにはどうしたらいいかを話し合い、時には厳しく声を掛け合ってきました。

本番では訓練の成果を発揮し、見事、準優勝を獲得。結果の中、選手をサポートしてきた分団員と、夜間・早朝の訓練にご協力いただきました地域のみなさまに感謝します。この訓練で培った精神と技術を今後の消防団活動に生かしていかれることでしょう。

※ 福井県消防操法大会とは別に、永平寺町内の各分団対抗による操法大会が開催されています。(P21に掲載)

問合せ 永平寺町消防本部 TEL 63-0119

広報誌による消防団員募集(永平寺町)

みんなの地域をみんなで守る!

水防団員募集集中!

平成28年12月に水防団に入団し、初任者訓練に参加して、初めて土のう作りや積み土のう工を体験しました。水防活動は、災害時に地域の方々の「命と財産を守る」という大切な仕事であることを再認識しました。私も役に立つ水防団員になっていきたいと思っています。

水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守るための貴重な役割を果たすのが**水防(消防)団**です。水防(消防)団員は、非常勤の公務員という身分を有しており、市町村等が手当を支給されます。詳しくは居住する市町村等にお問い合わせください。

水防(消防)団員の推移

H13～H28の15年間で、**水防(消防)団員の人員は約9万人減少**しています。

現在、全国で約**87万人**の団員が各地で水防活動に従事しています!

年度	水防(消防)団員の総数
昭和46年(1971)	1,224,403
昭和63年(1988)	1,024,000
平成13年(2001)	960,000
平成28年(2016)	867,504

水防月間チラシによる水防団員募集(国土交通省)

水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認

関係市町において、消防職員、市町職員、住民による水防訓練を実施し、水防体制の強化・確認を行いました。引き続き、水防訓練を実施し、洪水時の被害軽減に努めていきます。



H30.5.20
参加人数：170名

水防訓練(越前町)



越前町では、水防訓練で製作した土のうを平成30年7月豪雨時に活用し、迅速な水防対応を実施。
これを踏まえ、備蓄する土のう袋を増やした。
1520袋(H30.3末)
⇒3200袋(H31.3末)



H30.7.5~6
活動人員：220名

釜段工法による水防活動(越前町)



水防訓練(永平寺町)

H30.6.3
参加人数：230名



水防訓練(おおい町)

H30.5.20
参加人数：229名



水防訓練(敦賀市)

H30.6.2
参加人数：157名